

令和6年度 犬山市障害者自立支援協議会 定例部会 活動報告(令和7年3月10日時点)

第1回定例部会

《目的》

各事業所の話題になっている情報や課題を地域全体で共有し、支え合いの仕組みを整える。
ワールドカフェ方式での座談会を開催。

- 日 時 令和6年6月25日(火)10時～12時
- 場 所 犬山市民交流センターフロイデ201・202
- 対象者 市内障害福祉サービス等事業所、相談支援事業所、精神科及びクリニック、当事者団体、行政等
- 参加者 66名

《参加者の意見》※一部抜粋

- ・重心の利用者の居場所問題。生活介護事業所含む行く場所がない。
- ・子どもの特性に応じた対応の難しさ。
- ・障害児の兄弟に関して家族が障害児にかかりきりになってしまう。サポートする際にも、兄弟が関わりを求めてくる場面がある。
- ・精神科病院、地域での生活に不安があり、退院できないひともいる。精神障害の方への理解促進。
- ・専門知識を各事業所がスポット的に協力し合えるのでは。



第2回定例部会

《目的》

第1回定例部会で出していただいた困りごとの意見交換及び共有を通して地域課題解決に向けた支え合いの仕組みづくりの構築。

- 日 時 令和7年2月21日(金)10時～12時
- 場 所 犬山市民交流センターフロイデ201・202
- 対象者 市内障害福祉サービス等事業所、相談支援事業所、精神科及びクリニック、当事者団体、行政等
- 参加者 46名
- 内容 グループワーク
 - ・意見交換 「指示が入らない場面での対応について」
 - 「他害行為の対応について」
 - ・困りごとの共有及び支え合いの仕組みづくりに向けて

《参加者の意見》※一部抜粋

- ・スケジュールを絵や写真などを用い視覚化する。また、ホワイトボードにスケジュールを書く。
- ・本人や職員の札をつけて寸劇をする。
- ・他害行為ばかりを注意すると関係性が構築できないため、受け止めてあげる。
- ・言葉でのやり取りが難しく、他害となってしまう。
- ・孤立している保護者がいる。ワークショップや保護者会があることを周知する事も必要。
- ・人によって見えている角度が違うので相談できる場を設ける。

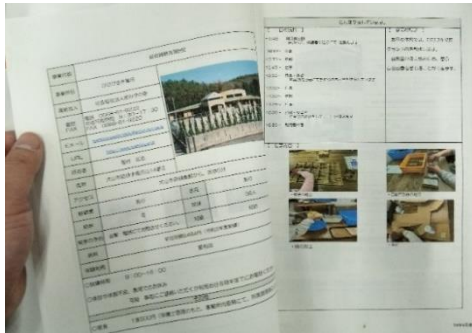


はたらく・過ごすガイドブック

《目的》

福祉的就労を考えている子どもや保護者など向けにガイドブックを作成。
(令和6年度)

・活動内容についてのアンケートを実施



③ 就労と生活を支える仲間のつどい

《目的》

役職を担っていない職員の方を対象に、日頃の支援についての困り事の共有や親睦を深める。

令和7年3月11日に開催し、今年度の振り返りと次年度について検討。

《見学会》

○令和6年10月22日(火)

○見学先:ひかり学園・来果 ○参加者:5名

ひだまり作品展

《目的》

障がいのある方の生涯学習や余暇活動の充実の機会として作品展を開催。

○日 時 令和7年3月1日(土)11時30分～17時
2日(日)9時30分～15時30分

○場 所 市民交流センターフロイデ

○作品数 81作品 ○投票者数 207人

・作品展準備会を開催し、企画段階から当事者に主体的に関わっていただきました。

《作品展準備会メンバー》

市内地域活動支援センター、障害者団体の当事者とサポーター職員 7名

《作品展準備会》5回開催

開催場所、開催時期、作品展のチラシ、当日の進め方、飾りつけのレイアウトなどについて話し合いました。また、3月24日に第6回準備会を開催し、作品展のふりかえりを行う予定。



令和7年度活動予定

・「はたらく・過ごすガイドブック」令和7年度版発行

・ひだまり作品展の開催

・就労と生活を支える仲間のつどい